

<2022 年夏実施 SAP/FL 現地派遣プログラム 募集要項>

I. 概要

1 SAP (Study Abroad Program)

SAP/スタディアブロードプログラム(以下「SAP」という。)は、高度教養教育・学生支援機構グローバルラーニングセンター(以下「グローバルラーニングセンター」という。)で実施している長期休業(春・夏)を利用した3~5週間の集中型短期研修プログラムです。参加学生は、協定校等での様々なテーマに沿った体験学習や特色ある英語講座等に参加し、さまざまな学習の機会を得ることができます。さらに、現地学生やコミュニティメンバーとの交流、ホームステイなど、日本では得られない貴重な体験を通じて、国際的な視野を育むことを目指します。全学教育科目前期集中講義「海外短期研修(基礎 A)」または「海外短期研修(基礎 B)」として実施されますので^{※1}、所定の成績を収めた学生には、1単位または2単位が付与されます。

2 FL (Faculty Led(教員引率型) Program)

FL/ファカルティレッドプログラム(以下「FLプログラム」という。)は、グローバルラーニングセンターで実施している長期休業(春・夏)を利用した約2週間の課題解決型集中短期研修プログラムです。参加学生は、担当の教員が設定した体験学習やフィールドワーク、特色ある英語や現地語講座等に参加し、さまざまな学習の機会を得ることができます。さらに、現地学生やコミュニティメンバーとの交流等、日本では得られない貴重な体験を通じて、国際的な視野を育むことを目指します。全学教育科目「海外短期研修(展開 A)」又は「海外短期研修(展開 B)」として実施されますので^{※1}、所定の成績を収めた学生には、1単位または2単位が付与されます。

^{※1}令和3年度以前入学者は、科目名を読み替えてください

1. 実施プログラム詳細

別紙【2022 年夏実施 SAP/FL 現地派遣プログラム一覧】を参照してください。

2. 募集から報告会までの流れ

内容	日時	会場等
募集開始	4月下旬	応募用 Google フォームに必要情報を入力し、応募書類を提出
募集説明会	4月27日(水)12:10~12:50	オンライン(Zoom)にて開催
募集締切	5月15日(日)23:59	応募用 Google フォームに必要情報を入力し、応募書類を提出
選考結果発表	5月下旬	メールにて結果発表
第1回事前研修(合同)	6月13日(月)18:30~20:30	3プログラム合同説明、会場未定(別途連絡あり)
事前研修(プログラム独自)	プログラム一覧にて確認	会場未定(担当教員から別途連絡あり)
第2回事前研修(合同)	8月10日(水)13:30~15:30	3プログラム合同説明、会場未定(別途連絡あり)
現地研修	8月~9月	
事前研修(プログラム独自)	プログラム一覧にて確認	会場未定(担当教員から別途連絡あり)
事後報告会(合同)	10月19日(水)18:30~20:30	3プログラム合同、会場未定(別途連絡あり)

応募条件

1. 応募資格:

全学部生、大学院生(学年不問) ※非正規生は応募できません。

2. 応募要件:

以下の全ての条件を満たすこと。

- ①5月13日(金)17:00までに学生教育研究災害傷害保険(学研災)の加入手続きを済ませること。
(未加入の場合)
- ②パスポートを取得済み、または参加決定後速やかに取得をし、6月末までにパスポートのコピーを提出できること。
- ③プログラム参加に支障のある健康上の問題、懸念事項がないこと。
- ④日本国および渡航先国が出入国者に定める要件(ワクチン接種等)をすべて満たせること。
- ⑤誓約書兼同意書の内容に記載された全ての事項を理解し、同意していること。

II. 応募期間

応募受付終了: 2022年5月15日(日) 23:59

III. 応募方法

1. 応募方法

応募用 Google フォームに必要情報を入力し、応募に必要な書類をそれぞれ指定されたファイル形式で提出してください。

2. 応募書類と作成上の注意

(1) SAP/FL 現地派遣プログラム応募用紙

グローバルラーニングセンターウェブサイトから「2022 夏 SAP/FL 現地派遣プログラム応募用紙」をダウンロードし、課題作文を作成してください。課題作文は、応募用紙の中で指定された言語、および、語彙数で作成すること。

(2) SAP/FL 現地派遣プログラム誓約書兼承諾書

グローバルラーニングセンターウェブサイトから「SAP/FL 現地派遣プログラム誓約書兼承諾書」をダウンロードし、全ての事項を理解し同意した上で、応募者本人及び保護者の直筆署名を行ったものを提出してください。

(3) 成績評価係数算出表(学部新生を除く)

グローバルラーニングセンターウェブサイトから「成績評価係数算出表」をダウンロードし、各自で昨年度(2021年度)の学業成績を確認し、成績評価係数を算出してください。

※2022年度に本学に入学した学部1年生等、2021年度の学業成績がない者については、提出する必要はありません。

(4) 成績証明書【写し】(該当者のみ)

令和4年度から本学に編入する学部学生や大学の学部を卒業した大学院学生は、学部入学時から現在までの成績証明書のコピーを Google フォームに提出してください。

※上記以外の学生は、応募時に提出する必要はありません。

IV. 注意事項

以下の内容を必ず読み、理解した上で応募してください。

- 募集要項、プログラム一覧、Q&A、シラバス(東北大学全学教育ウェブサイト 学務情報システムより検索 https://www.srp.tohoku.ac.jp/sa_qj/slbsskgr.do)を全てよく読み、理解した上で応募してください。
- 2019年度(平成31年度)以前に実施のウォータールー大学、モンタナ大学、ノースカロライナ大学シャーロット校プログラムに参加した場合は、今回、同一プログラムに応募することはできません。
- 選考結果の通知は、5月下旬にメールで行います。

- 選考結果発表後の辞退は原則として認められません。事前・事後研修、事後報告会、移動日も含めた現地研修のすべてに参加できることを確認した上で応募してください。また、所属学部等の追試験・再試験期間と重なっている場合は応募はできません。
- 危機管理上の理由から SAP/FL 現地派遣プログラムへの途中参加・一部参加は如何なる理由であっても一切認められません。追試験や再試験であっても認められませんので、必ず事前に試験日程を確認してください。
- 選考結果についての申し立てや、不採用理由の説明を求めることはできません。
- 応募者多数の場合は、学部生が優先的に選抜されます。
- 応募者が最少催行人数に達しない場合、実施中止となることがあります。
- 今後の世界情勢やコロナウイルス感染拡大等の状況を鑑み、大学の判断によりプログラムが中止・中断となる場合があります。その際に発生した一切の費用(キャンセル料や中断の場合の帰国旅費等)は全て参加学生の負担となります。
- 参加費は参加決定後にお支払いいただきます。一度払い込まれた参加費用は返金されません。
- SAP/FL 現地派遣プログラムには、現地研修に加え、事前・事後研修、報告会の参加、報告書作成や各種提出物の準備が含まれます。本プログラムへの参加にあたっては、全学教育科目「海外短期研修(基礎B)」または「海外短期研修(展開B)」を履修する・しないに関わらず、これらの研修等全てに参加し、与えられた課題を提出することが義務付けられます。なお、課題や各種提出物の期限までの提出、事前・事後研修全ての参加が下記に記載する奨学金支給の条件となります。
- 成績評価を伴う全学教育科目「海外短期研修(基礎B)」または「海外短期研修(展開B)」のいずれかの履修を原則とします(プログラムごとに履修する科目は決まっています。)。但し、履修制限等の特別の理由により科目履修を望まない等の事情がある場合には、履修を辞退することができます。
- 日本国籍(日本への永住が許可されている者(特別永住者を含む)も含む)の学部生の場合、派遣先大学での受講料のうち5万円を参加学生が負担し、残りは東北大学が負担します。また、全てのプログラムの参加学部生には一定の条件を満たした場合8万円の奨学金が支給(予定)されます。参加候補者として選出された際は、東北大学の代表として参加するという自覚を持ち研修に臨んで下さい。大学院学生や外国籍学生が参加する場合の受講料と奨学金の取り扱いは以下のとおりです。
 - 大学院学生(日本国籍または日本への永住が許可されている者(特別永住者を含む)):
受講料は全額自己負担となります。奨学金は、過去に全学教育科目で実施されたSAP、FLプログラム(部局主催のものを除く)の科目履修をしたことが無く、指定の方法により算出される2021年度の学業成績が成績評価係数2.3(3.0満点)以上で、履修登録をする学生にのみ支給予定。
 - 外国籍(在留資格が「永住」の場合を除く)の学部学生・大学院学生:
受講料は全額自己負担となります。また、どのプログラムに参加した場合でも奨学金は支給されません。
- 本学での修学のために日本学生支援機構の給付奨学金を受けている学生については、本プログラム参加により奨学金を受給する際に、給付奨学金の停止手続きが必要となる場合があります(日本学生支援機構の貸与奨学金を受けている学生は、停止する必要はありません)。対象者には、本プログラム参加による奨学金の支給が決定した際に、改めてお知らせします。
- 上記受講料以外に、往復の航空券等参加に係わる交通費、宿泊費、保険料、旅券査証申請費及び食費等がかかります。
- 既定の家計基準等を満たす場合、渡航支援金として32万円が支給される可能性があります。詳しい条件と提出書類は、Q&A「Ⅱ. 費用と奨学金について」の「Q3. 渡航支援金支給の詳しい条件と提出書類を教えてください。」で確認してください。
- プログラムに参加決定後に事前・事後研修、事後報告会を許可無く欠席したり、必要書類の提出を怠ったりした場合は、奨学金や渡航支援金の支給対象外となる場合や、支給後であっても返還を求められる場合があります。
- プログラムに参加が決定した場合、参加者全員が大学指定の海外旅行保険である「付帯海学」への加入が義務付けられます。付帯海学へ加入するためには、学生教育研究災害障害保険(学研災)に加入済みである必要があります。学研災に未加入の学生は、5月13日(金)17:00までに、学生支援課生活支援係(川内北キャンパス)で加入手続きを進めてください。
 - 学研災: <http://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/studentlife/11/studentlife1101/>
- 付帯海学への加入方法は、第1回事前研修で説明されます。
- プログラム参加に伴う海外渡航にあたっては、所属学部・研究科による承認が必要となります。
- プログラム期間中、所定の滞在先以外での宿泊(外泊)および滞在国以外への渡航は認められません。

- プログラムに参加が決定した場合、6月30日(木)までにパスポートの顔写真ページのコピーの提出が必要となります(提出方法は参加者に別途案内します)。パスポートを未取得の場合は、プログラムへの参加決定後、速やかに取得できるように事前に準備を進めておくようにしてください。パスポートを取得済みの場合も、予め有効期限を確認し、研修終了後も有効期間が十分残っていることを確認してください。有効期間が1年未満の場合は、切替申請をする必要があります。
- 担当教員が必要と認めた場合は、プログラム独自の事前研修の回数が増える可能性があります。

V. 問い合わせ

教育・学生支援部留学生課 海外留学係
電話: 022-795-4818(平日 8:30~17:00)
Email: sap@grp.tohoku.ac.jp